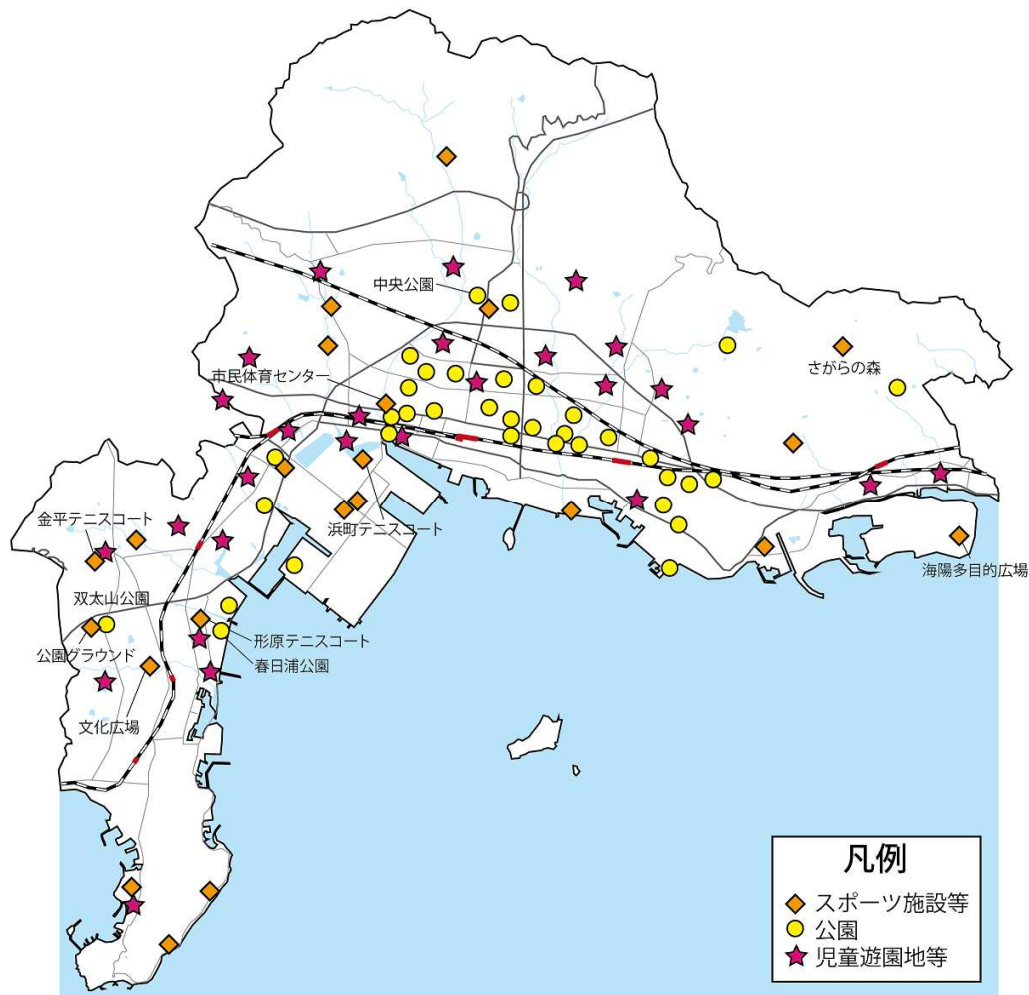


3-4 運動・公園施設（スポーツ施設等、公園）

- ・運動・公園施設は、スポーツの振興を図り、住民福祉の向上に寄与することを目的として設置しています。グラウンド、体育館、テニスコート、多目的広場、公園、児童遊園地等の各種施設が整備されています。
- ・市民体育センターは、武道館や相撲場だけでなく会議室も完備しているスポーツ施設となっています。
- ・小規模な公園、運動広場、児童遊園地のトイレや休憩所、屋外運動施設は配置状況のみ示します。

図 3-32 配置状況・外観写真（体育施設）



市民体育センター



文化広場



双太山公園

3-4-1 スポーツ施設等

(1) 老朽化状況の把握

- ・市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）ともに、老朽化度が3以上で老朽化が進んでいる状況です。特に老朽化度が4を超え老朽化がかなり進行している競技場については、現在耐震化を図る改修工事を実施しています。
- ・市民体育センター武道館、文化広場、金平テニスコート、さがらの森は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-33 老朽化状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
公園グラウンド	2,046	S47	2.7					
市民体育センター	競技場	S42	4.2					
	武道館	S55	3.6					
文化広場	1,857	S58	3.3					
浜町テニスコート	89	H1	2.7					
金平テニスコート	242	S62	3.5					
形原テニスコート	43	S53	調査対象外	調査対象外				
海陽多目的広場	154	H27	調査対象外	調査対象外				
さがらの森	500	S49	3.0					

※市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）それぞれの老朽化状況を掲載しています。

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。市民体育センターの武道館については、武道館棟の建築年を掲載しています。

※形原テニスコートと海陽多目的広場は床面積 50 ㎡以上の建物がないため、老朽化度の調査を行っていません。

(2) 利用状況の把握

- ・市民体育センターは、年間約18万人の利用があります。
- ・施設によって利用率の差が大きく公園グラウンド、金平テニスコート、海陽多目的広場は利用率が50%以上となっていますが、形原テニスコート、さがらの森は利用率が20%を下回っています。

図 3-34 利用状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
公園グラウンド	2,046	37,593	33,924	34,540	27,350	34,731	30,497	33,106
市民体育センター	10,312	186,939	188,213	181,098	190,170	183,136	157,298	181,142
文化広場	1,857	25,287	27,315	26,023	30,658	28,658	26,019	27,327
浜町テニスコート	89	11,973	13,022	12,022	11,745	11,624	10,179	11,761
金平テニスコート	242	21,144	14,289	18,485	16,673	16,918	12,434	16,657
形原テニスコート	43	2,053	1,751	2,833	2,200	2,372	6,266	2,913
海陽多目的広場	154	—	—	—	16,431	15,643	24,060	18,711
さがらの森	500	4,508	5,432	3,881	6,317	2,824	4,080	4,507

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
公園グラウンド	107.5	0.053	56.9						
市民体育センター	505.8	0.049	28.6						
文化広場	88.7	0.048	26.0						
浜町テニスコート	32.9	0.368	42.5						
金平テニスコート	48.2	0.199	52.5						
形原テニスコート	8.2	0.192	14.5						
海陽多目的広場	166.9	1.082	58.4						
さがらの森	12.6	0.025	7.0						

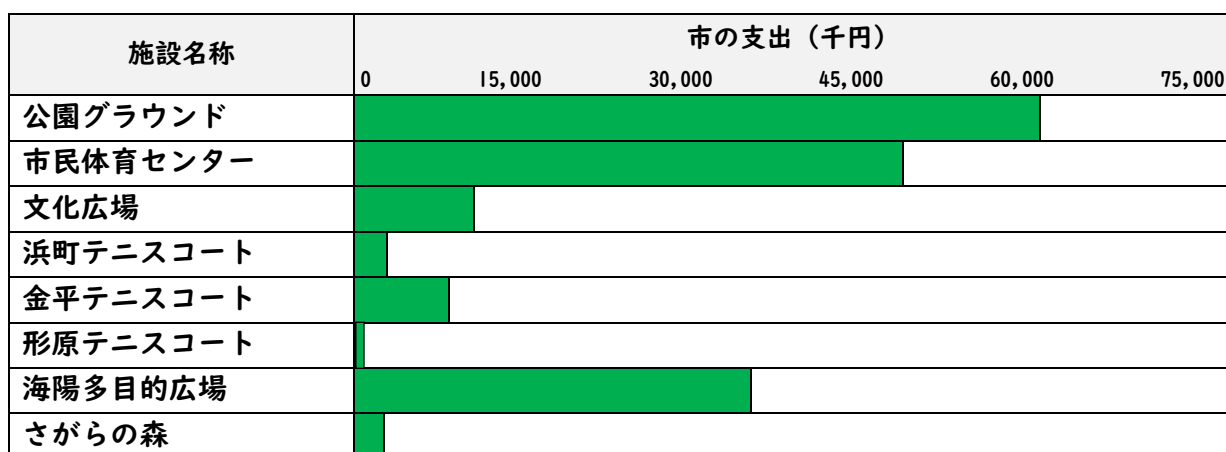
- ※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。
- ※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館期間があります。
- ※貸部屋等利用率は競技用の部屋・スペースだけでなく、会議室等を保有している場合は会議室等も含めて計算しています。
- ※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・施設規模が大きい市民体育センターのコストが高くなっています。特に、指定管理料が他施設よりも高くなっています。
- ・公園グラウンド、海陽多目的広場は施設の大規模な改修や建物の増築を行っているため、施設に係るコストが高くなっています。

図 3-35 コスト状況（スポーツ施設等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
公園グラウンド	43,136	0	0	18,510	61,646
市民体育センター	1,889	1,963	0	44,814	48,666
文化広場	2,352	0	0	10,372	12,724
浜町テニスコート	0	0	0	2,524	2,524
金平テニスコート	7,317	0	0	1,826	9,143
形原テニスコート	441	0	0	644	1,085
海陽多目的広場	35,898	0	0	0	35,898
さがらの森	2,322	0	0	0	2,322



※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

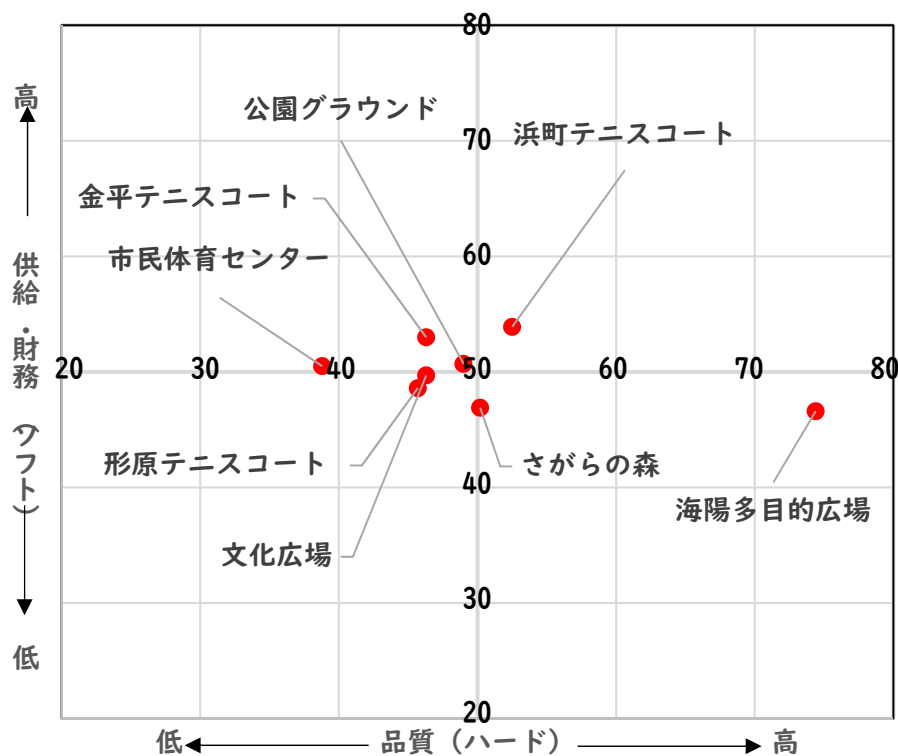
※海陽多目的広場は平成27（2015）年度に建築、平成28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・市民体育センターは建物の品質の平均偏差値が 40 を下回っており、特に老朽化が進んでいます。
- ・文化広場、形原テニスコート、海陽多目的広場、さがらの森は供給・財務の平均偏差値が 50 を下回っています。

図 3-36 ポートフォリオ分析結果（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等 利用率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
公園グラウンド	2,046	40.2	46.5	2.7	51.5	49.0 (-0.3)	0.053	44.0	56.9	61.5	29,803	52.2	6.52	45.2	50.7 (+7.4)
市民体育センター	10,312	45.9	42.3	3.9	35.3	38.8 (-5.5)	0.049	43.9	28.6	46.1	3,158	56.0	0.50	56.2	50.5 (-3.9)
文化広場	1,857	36.6	49.2	3.3	43.4	46.3 (-5.4)	0.048	43.9	26.0	44.7	5,668	55.6	1.26	54.8	49.7 (+2.5)
浜町テニスコート	89	31.0	53.4	2.7	51.5	52.5 (+0.4)	0.368	53.5	42.5	53.6	28,224	52.4	0.60	56.0	53.9 (+1.2)
金平テニスコート	242	33.0	51.9	3.5	40.7	46.3 (-2.9)	0.199	48.4	52.5	59.1	35,513	51.4	2.09	53.3	53.0 (-2.1)
形原テニスコート	43	41.3	45.7	調査対象外	調査対象外	45.7 (-0.4)	0.192	48.2	14.5	38.4	25,491	52.8	1.08	55.1	48.6 (+1.3)
海陽多目的広場	154	3.2	74.3	調査対象外	調査対象外	74.3 (-)	1.082	75.0	58.4	62.3	229,179	23.9	17.53	25.0	46.6 (-)
さがらの森	500	31.8	52.8	3.0	47.5	50.2 (-)	0.025	43.2	7.0	34.3	4,640	55.7	1.57	54.3	46.9 (-)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。なお、前白書のデータがない施設については、偏差値の比較を行っておりません。

※海陽多目的広場は平成 27（2015）年度に建築、平成 28（2016）年度の途中から供用開始されたため、平成 29（2017）～令和元（2019）年度の平均値を掲載しています。

3-4-2 公園

(1) 老朽化状況の把握

・中央公園（管理事務所・トイレ）は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-37 老朽化状況（公園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
中央公園	148	S55	3.0					
双太山公園	220	H1	2.5					
春日浦公園	78	H10	2.2					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

・中央公園、双太山公園、春日浦公園では指定管理料が発生しています。敷地面積の大きい中央公園のコストが高くなっています。

図 3-38 コスト状況（公園）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
中央公園	0	0	0	18,720	18,720
双太山公園	0	0	0	6,663	6,663
春日浦公園	0	0	0	3,808	3,808

施設名称	市の支出（千円）					
	0	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000
中央公園						
双太山公園						
春日浦公園						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。